| 科目ナンバリング | U-LAS14 20012 LJ68 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名<br><英訳> | 行動生態学入門<br>Introduction to Behavioral Ecology | | | 担当者所属<br>職名・氏名 | 地球環境学舎 教授　　市岡　孝朗 | | |
| 群 | 自然科学科目群 | 分野(分類) | 生物学(各論) | | 使用言語 | 日本語 | |
| 旧群 | B群 | 単位数 | 2単位 | 週コマ数 | 1コマ | 授業形態 | 講義（対面授業科目） |
| 開講年度・開講期 | 2024・前期 | 曜時限 | 木1 | 配当学年 | 主として1・2回生 | 対象学生 | 全学向 |

**[授業の概要・目的]**

人間を含めた動物にみられる様々な行動の進化や社会性の進化を理解するために有効な行動生態学の考え方、基礎的な理論を習得することを目的とします。

**[到達目標]**

自然選択による生物進化を詳しく理解することができる。
人間の行動を含めた動物の行動についての理解が進む。
人間・動物が関わるあらゆる現象について科学的に分析し、人間の意志決定を合理的に考察する思考法が養われる。

**[授業計画と内容]**

上記の目的に従って、以下の話題に沿って講義を行う予定です。
１．はじめに：　行動生態学とは何か？行動を説明する４つの「なぜ？」
２．行動の進化をもたらす自然選択１：　自然選択とは何か？
３．行動の進化をもたらす自然選択２：　行動は遺伝するか？
４．行動の進化をもたらす自然選択３：　行動はどのように進化するか？
５．最適戦略の進化：　最適な行動とはなにか？
６．ゲーム理論：　駆け引きはどのように進化したか？
７．利他性と利己性：　生物はいかに利己的なのか？
８．性選択：　なぜ浮気は進化するのか？
９．育児：　誰が子育てをするのか？
１０．血縁選択１：　身内びいきはどのように進化したのか？
１１．血縁選択２：　社会性とは何か？
１２．血縁選択３：　親子・兄弟げんかはなぜ起きるのか？
１３．互恵的利他行動：　見返りを求めない助け合いは進化するのか？
１４．文化進化：　文化は行動の進化にどのような影響を与えるのか？
≪定期試験≫
15.フィードバック　等

**[履修要件]**

特になし

**[成績評価の方法・観点]**

１回の定期試験（筆答またはレポート）で評価します。
出席状況は評価の対象にしません。

行動生態学入門(2)へ続く↓↓↓

行動生態学入門(2)

[教科書]

授業中に指示する

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

復習のみで十分ですが、授業中に紹介する参考書などを用いて、自主的な学習を期待します。

[その他（オフィスアワー等）]

生物学の専門的な知識がない学生でも理解できるように講義内容を調整していますので、受講にあたり、高校で生物学を履修している必要はありません。
授業中に質問の時間を確保しますので、理解しにくいことがありましたら、積極的に質問してください。